

常総水害からの復興をめざして

JUNTOSは
ポルトガル語で
“いっしょに”



たすけあいセンター

JUNTOS! 通信

2022年11月発行 第28号

日本語版



えんがわハウス も3年目。私たちの「まちの居場所」紹介します



2015年9月、常総市は鬼怒川洪水に遭い、大変な困難に直面しました。災害で多くの空き家ができました。その空き家を地域づくりに活かそうと取り組んでいるのが、もりはしプロジェクトです。そのプロジェクトでできた、えんがわハウス(コミュニティカフェと子育て支援の家)と3つのシェアハウスを紹介します。

プロジェクトで大事にしていること~人、もの、交流を大切に

使う人がいなくなった家、家具、本、玩具、レコード、車などには使っていた人の思いがあります。捨ててしまうのではなくできるだけ再び使えるように、誰かが楽しめるようにしたいです。

多様な働く場を作る

仕事をしたいけれど自信がない、親・きょうだい・子の世話があるといった働きづらさを感じている人にも、その人ができる仕事を作ります。子どもが好きな人は保育や子の見守り、料理が好きな人はカフェや食事作り、野菜が好きな人は畑、動物好きの人はやぎの世話、本や音楽が好きな人は図書室やブックカフェ、運転ができる人は外出サポート、物作りが好きな人は家の改修や修理、庭いじりが好きな人は庭づくり...あなたのしたい仕事はなんですか?

多様な人々が交わること

常総市には42の国から来られた多様な人々が暮らしています。多様な文化を持つ人々が交わること、一緒に何かを作り出すこと、多様性を地域の元気に繋げることを目指します。



えんがわハウスのご紹介



えんがわハウスには3つの建物があります。元は片野診療所とお医者さんの住宅でしたが2015年の鬼怒川水害で医院は閉じ、住む方がいなくなっていました。その1年後、ここを人が集える場として再生する活動が始まり、多くの人の協力により2018年に再生されました。

元は住宅だった2つの建屋のうち、古い木造の建物は1階部分の32畳の広間を改修して「はじめのいっぽ保育園」を作りました。2階には沢山の児童書を所蔵する文庫と学習スペースがあります。診療所を改修したのが「えんがわカフェ」です。



1. 保育棟から「いやしの家」へ

母屋とカフェの間にあるのが「いやしの家」です。以前はここで保育をしていましたが、今は親子が一緒に過ごせる子育てサロン、ヨガ、マッサージなど、心と体をリフレッシュできる場を目指して作っています。



広々とした2階では、赤ちゃんと一緒にサロンやヨガもできます。キッチン、控え室もあり、色々な用途に使っていただけます。

2.はじめのいっぽ保育園



はじめのいっぽ保育園は、0-2歳児を対象にした認可保育と3-5歳児を対象にした認可外保育があり、それぞれ定員9名の小規模な保育園です。保育スタッフには4名の外国籍スタッフがいますので、ポルトガル語、英語、タガログ語に対応できます。日本・ブラジル・フィリピンなど多様なルーツの子どもが自然な形で、体験を通して言葉や生活習慣を学べるよう一人一人に寄り添った保育を心がけています。

広い庭にはツリーハウス、シーソーやブランコ、滑り台などの手作りの遊具があり、ヤギの世話をしたり虫取りなど楽しんでいます。

2階の文庫には、二人のかたから寄贈された本が沢山並んでいます。子どもの絵本、名作漫画が多くあります。2階の学習室では小学生向けの日本語教室も開いています。



季節を感じる豊かな体験を、
多様なルーツの仲間たちと



はじめのいっぽ
保育園の
情報はこちら



2階では、平日の放課後から18時まで小学生向け日本語教室をおこなっています。
きょうはどんな勉強かな…?





フリー Wi-Fi
あります

えんがわハウスの一番北にあるのが、診療所を改修したえんがわカフェです。今は水曜と木曜の10時～15時までの営業ですが、担い手が増えれば営業日や時間を増やしたいと思います。

メニューはパスタやピザなどのお食事と、ハンドドリップコーヒーや自家製梅ジュースなどのドリンクをご用意しています。

このカフェには図書スペースもあります。子育て、保育、防災、福祉、多文化、居場所、地域づくりDIYに関する本を多くそろえており、コーヒーを飲みながら読書もできます。レコード、レーザーディスクプレーヤーもあるので、懐かしい音楽やアニメなどの鑑賞も可能です。おむつ交換台のある多目的トイレやソファもあるので、小さなお子さま連れの方も安心して過ごしていただけます。

駐車場は、カフェ斜向かいです。お気軽にお立ち寄りください！



えんがわカフェは、イベントスペースとしての貸し出しも可能です。ご相談ください。（オンライン会議、映画鑑賞会、キッチン、フロア、機材等）



えんがわカフェ 人気メニューのご紹介



ハンドドリップコーヒー&
自家製梅ジュース



ナポリタン、
マルゲリータピザ、
クリームパスタなど
オススメです。
サラダ付き♪

「できるかな?やってみたい」を実現できるえんがわカフェへ

えんがわカフェでは、「働くことにおいて動き出してみたい」と思う方を応援しています。就労準備支援として、カフェでの調理や接客を体験していただくこともできます。料理や接客に興味があって、仕事をしてみたいという方、お客様の反応も直接受け取れるえんがわカフェで、仕事を体験してみませんか?



今年もやります!

えんがわマルシェ

えんがわカフェ1周年を記念して始まったえんがわマルシェ、今年で3回目を迎えます。毎回100名を超える方々に来場していただいています。ご来場の皆さまにお楽しみいただけるよう、今年も採れたて野菜、おいしい食べ物やずてきな雑貨を用意しました。ぜひ、ふらりとお立ち寄りくださいね。

11月20日(日) 9:30 am - 14:00 pm

えんがわマルシェ

BY えんがわカフェ

野菜販売 (軽トラ市) メダカすくい、雑貨

軽食 スイーツ ブラジルスナック

たいやき ドリンク

この特別なイベントで美しい瞬間をお楽しみください! ご来場お待ちしております。

3571 Mitsukaido Hashimotocho, Jōsō, Ibaraki 303-0003



3つのシェアハウスとまちの居場所



私たちは、空き家をどのように活用するかをいつも考えています。えんがわカフェは、水害でファミレスがなくなり「お茶のみできるところがなくなった」という声を受けて作りました。保育園は、外国にルーツを持つ家族が安心して子どもを預けられる保育園をつくれれば、小学校に入るための準備もできるし、色々な国の家族と繋がれると考えて作りました。

シェアハウスとは、自分の部屋があり、キッチン・風呂・トイレは共有という共同生活の場です。水害で住めなくなった住宅・アパート・店舗兼住宅を、ひとつひとつ特徴を持った住居として再生し、住まいに困っている方たちに提供しています。

1. JUNTOS (ジュントス) ハウス

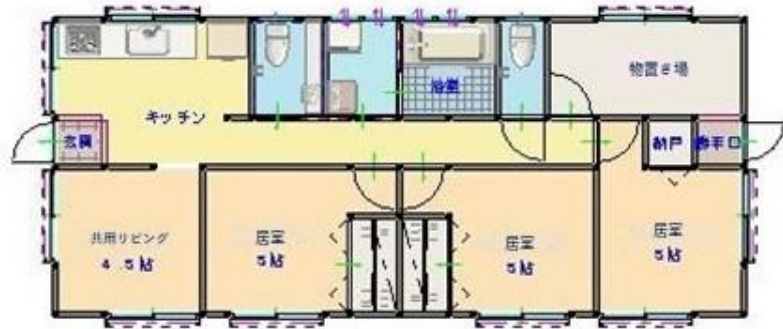
コンビニの隣にある黄色いJUNTOSハウスは、最初に改修した家です。これまで事務所、学習室、住まいがない人の一時生活用シェルター、など色々な使い方をしてきました。今は2階が居室、1階はフリースペースになっています。1階は、急に泊まる場所が必要となった時に提供されることもあります。これからは各シェアハウスの住民はじめ、地域のみなさん、すぐ近くを歩いている高校生の皆さんが立ち寄って、ひとやすみできるオープンスペースにしていきます。部屋づくり、庭づくりを手伝ってくれる方を大募集中です。



2. えんがわハイツ

二世帯用アパートを改修し三世帯入居できるようにしたのが「えんがわハイツ」です。こちらは女性専用で、お子さんと住むこともできます。部屋にはクローゼットとベッドが据え付けられています。お風呂、キッチン、リビングは共有です。

11月から2部屋空きます。



3. ぽかぽかホーム

JUNTOSハウスとえんがわハイツはそれぞれ北水海道駅から徒歩3分くらい、森下町にあります。

もう一つのシェアハウスである「ぽかぽかホーム」は水海道二高の目の前にあります。水害前は青柳製麺があった場所で、その店舗兼住宅を改修しました。2階建のシェアハウスには5部屋あります。このシェアハウスは、住むところが見つけない方のために作りました。施設に長く収容されていた方、家に長く引きこもっていた方、身体が不自由ですぐに働けない方などが暮らしています。店舗のスペースにはオーダーメイドのTシャツの販売をするお店が入っています。小さな駄菓子コーナーもあります。このホームの奥に進むと、製麺工場だったところを改修した多目的ルーム「てぶくろの部屋」があります。電子ピアノ、電子ドラムなどの楽器やカラオケの機械もあります。音楽で交流できればと整備しました。20名くらいの教室も開けますので、使い方はコモンズにご連絡ください。この場を使って、習いごと教室が開ければと思っています。



店舗兼住宅の奥の工場建屋を多目的棟に改修。ウクライナの絵本から「てぶくろの部屋」としました。



改修前は工場跡地



床と天井を改修

多目的に使える
てぶくろの部屋



ウクライナからの新しいなかま



えんがわハイツに7月から2ヶ月間入居されていたイリーナさんという女性があります。彼女はウクライナへのロシアの侵攻のために一人で日本に避難してこられました。茨城、そして常総を選んで来てくれたイリーナさんは、ウクライナにいた頃から日本のアニメに親しみ、キーウで歌手や俳優をしていました。最近は常総市内外の様々なイベントに招かれ、日本語や英語、ウクライナ語で歌っています。日本語勉強中で、日常的なやりとりもできるようになった努力家です。ぜひ地域の皆さんとも交流していただきたいと思っています。



高校生との交流

コモンズは、さまざまな場所を作っていますが、それは多様な人々の交流を目指しているからです。常総市石下地区にある石下紫峰高校には、多くの外国ルーツの生徒が学んでいます。私たちは、この高校に出向き、学習や進路、生活に関する相談に乗ったりしながら、この地で育つ若い世代が地域で活躍するのを応援したいと活動しています。えんがわカフェやてぶくろの部屋では、高校生がさまざまな活動をしています。今後は色々な学校に通う人たち、学校に行きたいと思う人たちが交流を深められるようにしていく予定です。

海外からの研修生の受け入れ

えんがわハウスは、多文化共生・地域づくりの実践の場であり、学びの場でもあります。今年10月から約半年間、JICA研修生としてペルーからカズさんが仲間入りしています。10月には筑波大からエクアドル出身のアイデさんがインターンとして来てくれました。二人は保育園の子や高校生と関わったり、カフェや家のリフォームで大活躍しています。



カフェがおしゃれになりました



保育園の中、外で一緒に遊びました。



アイデさんは、高校生が中心となり企画したハロウィンパーティで参加者交流の進行役をしたり、得意なダンスを教えていただきました。



世界の料理を食べたり、シェア農園で自家製野菜を楽しみませんか

先日、えんがわカフェではタイの料理を作って食べるイベントを行いました。今後も世界の料理をみんなで作って食べる、同様のイベントを開催する予定です。この国・地域の料理を食べてみたい!などリクエストも募集しています。

えんがわハウスの隣では畑づくりに挑戦中です。ここで作る、おいしくて体にやさしい野菜を保育園の食事やカフェの食材に使います。自分の国の野菜を使って料理を作りたいという外国ルーツの方にも参加してもらい、シェア農園ができればと計画中です。ケール、パクチーなど外国原産の野菜も作りたいたのですが、水海道の気候・土壌に合うのでしょうか…? 農業の経験者、野菜作りをやってみたい方…、ぜひ、一緒に農園づくりにチャレンジしてみませんか?





お知らせ・募集

お知らせ

募集中

・11月20日(日)9:30~14:00 えんがわマルシェ えんがわハウス前の畑をお借りして行います。
 手作りの小物、野菜などの販売、たい焼きのほか、食べ物、飲み物も楽しめます。
 ・はじめのいっぽ保育園では、令和5年度から入園する園児も募集しています。(生後半年~5歳)
 関心のある方は、見学にいらしてください。(TEL 090-1042-6011)

★イベント会場の利用者

母屋(休日のみ)、いやしの家のサロンスペース、えんがわカフェをイベントスペースとしてお貸しします
 10~30名、器材貸出可。懇親会応相談

★癒しの場を活用いただける方

マッサージ、ヨガなど健康や心身のリラクゼーションに関わることをいやしの家で行ってくださる方を募集しています

★調理ができる方

えんがわカフェでは日替わりシェフ募集。得意な料理、スイーツで出店しませんか?

★シェア農園をやってみたい方

土づくりからシェア農園に関わってもいいという方、野菜作りを楽しみたい方、一緒に畑を耕しましょう!

★移動支援(運転)、買い物代行や外出支援スタッフ (都合のつく時だけでOKです)

★高齢者などが乗車しやすい車や軽トラなど使わなくなった車を譲っていただけると嬉しいです。

★多文化保育のスタッフ、ボランティア(調理、庭の手入れ、楽器演奏、読み聞かせ、本の整理など)

★学習支援スタッフ 外国にルーツをもつ子どもたちの放課後・土曜日の日本語学習や受験勉強のサポートをするボランティアを募集しています。平日15:30-18:00 / 土曜の午前または午後 (都合のつく時だけでOKです)

★使っていないiPadがあればお譲りください こどもが自宅で学ぶ際や、面会できない高齢施設での家族との対話に活用します

えんがわハウスの庭に遊びに来てね もうすぐヤギも来るよ



この本に、はじめのいっぽ保育園の事例が掲載されました。



窓から常総線、たまには虹がみえます。



保育を通して、助け合える仲間づくりを広げていきます。

3千万円を超える借入を返済し、空き家活用型地域づくりの実験を成功させ、公的支援がない外国ルーツの人の生活や学習を支えるために寄付を募集しています。

寄付受付口座
 結城信用金庫 水海道支店
 普通 0279141
 ジュントス・常総復興まちづくり
 株式会社 代表取締役 横田能洋



災害復興の情報



えんがわハウスの情報

たすけあいセンター「JUNTOS」

常総市水海道橋本町3571
 えんがわハウス内
 常総線「北水海道駅」から徒歩10分)

☎ : 0297-44-4281

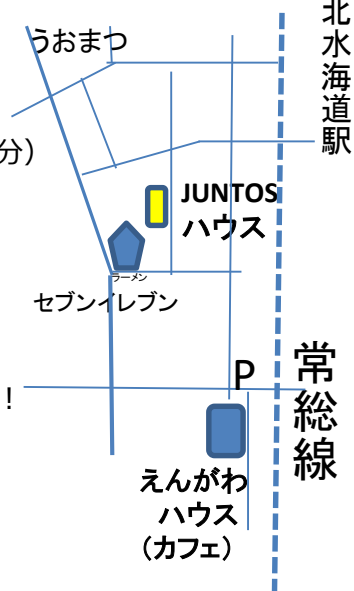
FAX : 0297-44-4291

info@npocommons.org

時間 : 午前9:00~午後6:00
 (日曜は定休日)

えんがわカフェ

水・木 10:00-15:00 営業中!



社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根
 福祉基金

新型コロナウイルス感染下における
 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

この情報誌で紹介したシェアハウスなどの改修と運営では共同募金のご支援をいただいています。